

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U)

平3-38474

⑫ Int. Cl.⁵F 16 K 31/68
F 01 P 7/16

識別記号

Q
E

庁内整理番号

8713-3H
6848-3C

⑬ 公開 平成3年(1991)4月15日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑭ 考案の名称 温度感知式自動弁

⑮ 実 願 平1-99382

⑯ 出 願 平1(1989)8月25日

⑰ 考 案 者 中 嶋 忠 男 東京都清瀬市中里6丁目59番地2 日本サーモスタット株式会社内

⑱ 出 願 人 日本サーモスタット株式会社 東京都清瀬市中里6丁目59番地2

⑲ 代 理 人 弁 理 士 磯 野 道 造 外2名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 流体の温度変化により作動する作動体に弁体を設け、この弁体を閉鎖位置に付勢する付勢体を備え、前記作動体の作動により弁体を開閉位置に操作して通路を開閉する温度感知式自動弁において、前記弁体に孔部を形成し、その孔部に前記作動体の作動にともなつて開弁圧が変わる圧力弁体を設けたことを特徴とする温度感知式自動弁。
- (2) 前記圧力弁体の口径が前記弁体の口径に比して約1/4前後であることを特徴とする請求項1記載の温度感知式自動弁。

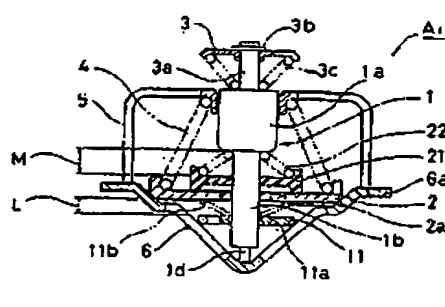
図面の簡単な説明

図面の第1図から第7図はこの考案の実施例に

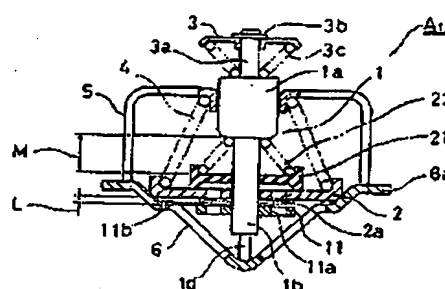
係り、第1図は温度感知式自動弁の第1実施例を示す正面断面図、第2図、第3図および第4図は第1実施例の作動状態を示す説明図、第5図は第1実施例における作動体の温度に対するリフト特性を示す説明図、第6図は第1実施例の他の態様を示す正面断面図、第7図は温度感知式自動弁の第2実施例を示す正面断面図である。また、第8図は内燃機関の冷却水回路を示す説明図、第9図は従来例を示す正面断面図である。

A₁, A₂, A₃……温度感知式自動弁、1……作動体、2……メイン弁体(弁体)、2a……孔部、3……サブ弁体、4……付勢体、5……フレーム、6……押受体、11……リテーナ、21……圧力弁体、31……圧力調節機構。

第1図

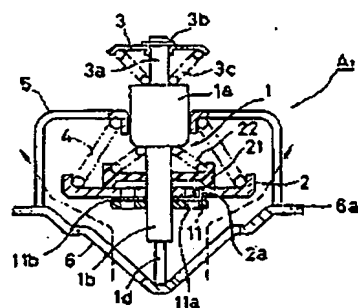


第2図

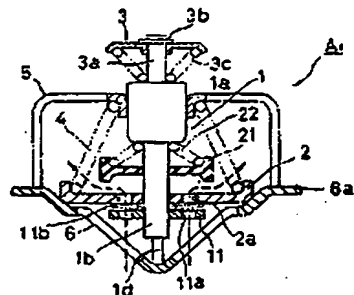


実開 平3-38474(2)

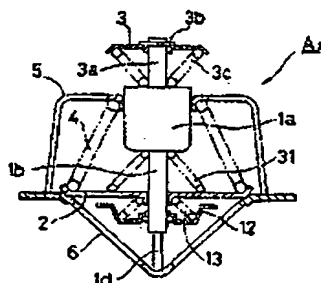
第3図



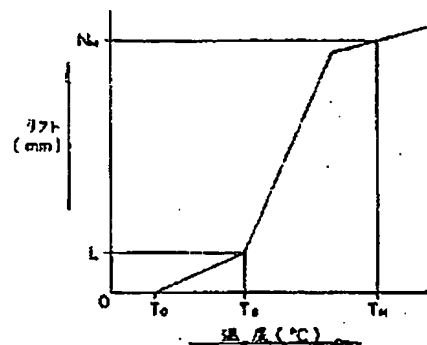
第4図



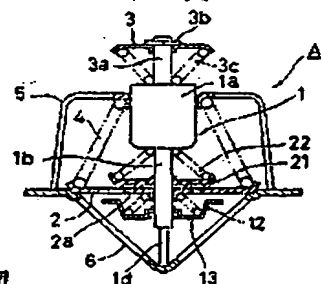
第7図



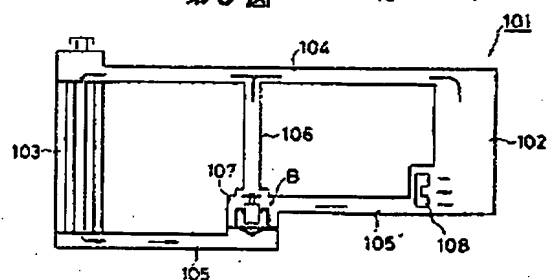
第5図



第6図



第8図



第9図

